

02. kernel: application bug: upsd(プロセス番号) has SIGCHLD set to SIG_IGN but call wait().

RedHat 9 で、次のエラーが /var/log/messages ファイルに記録される。

kernel: application bug: upsd(プロセス番号) has SIGCHLD set to SIG_IGN but call wait().
kernel: (see the NOTES section of 'man 2 wait'). Workaround activated.

対応は、次のスクリプトファイル(/etc/rc.ups)の upsd の起動にオプション **-z** を追加してください。リリースバージョンによっては、起動にオプションがない場合があります。

```
#!/bin/sh
#
# $Header: UPS Initiate,v 1.0 01/09/21 13:37:11 root Rel40 $ ZIRION NETWORKS;
#

if [ -x /usr/ups/bin/upsd ]; then
PATH=/usr/ups/bin:$PATH export PATH
/usr/ups/bin/upsd -z
echo "Starting UPS monitor..."
fi

exit 0
```

/etc/rc.ups ファイルは、読取専用の場合があります。ファイル内容の変更は強制書き込みにて変更してください。

(動作の確認)

upsd デーモンが起動している場合は、プロセスを **kill** コマンドで終了させてください。
手動で、**/etc/rc.ups**を実行してupsd デーモンの動作を確認してください。(確認方法は、CDのオンラインマニュアルより「動作の確認」を参照してください。)

/etc/rc.ups 手動起動結果	
RedHat9 対応 upsd デーモン	RedHat9 未対応 upsd デーモン
Starting UPS monitor...	upsd: Bad option Starting UPS monitor...
そのままお使いください。	ソフトウェアのバージョンアップが必要です。

動作の確認後、コンピューターを再起動してください。